



NPO PTPL “ともいき” 便り No. 202

令和3年（2021年）6月21日発行

■ 夏至（げし） 令和3年6月21日から7月6日までの節気

先日、初めて真っ赤な紫陽花をみて驚きました。白いアナベルと並べて植えたら、紅白で縁起がいいなと思いましたが、やはり梅雨の景色には淡い色合いの紫陽花が似合うように思います。

6月21日から7月6日まで、二十四節気では「夏至」の節気に入ります。昼が一番長く、夜が一番短い日です。この日を境に、冬至に向かって、少しずつ昼が短く、夜が長くなっていきます。

今年の5月から10年ぶりに、気象の「平年値」が変わったという報道がありました。今までは1981年から30年分の観測値を使っていましたが、今年から1991年～2020年の観測値を使うようになります。気象庁によると、新平年値では現平年値と比べ、年平均気温は全国的に0.1～0.5℃程度高くなり、降水量は季節によって多くの地点で10%程度多くなるとのことです。

ちなみに今年の関東甲信越の梅雨入りは、平年より1週間遅い6月14日でした。さらにここ10年の間では一番遅いそうです。梅雨入りはいつでしょう。平年は7月19日、昨年は8月1日ごろでした。

6月23日（火）は、オリンピックデーです。1894年（明治27年）の6月23日、フランスのクーベルタン男爵の提唱によりオリンピック復興に関する国際会議がパリで開かれ、第1回アテネオリンピック大会（1896年）の開催を決議し、「国際オリンピック委員会（IOC）」が組織されました。IOCは「スポーツを通じて相互理解と友好の精神を養い、平和でよりよい世界の建設に貢献する」というオリンピックの基本精神を広く各国に伝えています。

第18回東京オリンピックでは「世界はひとつ」を訴えました。56年ぶりの第32回東京オリンピックを開催するのであれば、私たちはいったい何を訴えるべ

きなのでしょうか。

6月30日（火）は、夏越しの祓えです。旧暦の6月末日に行われる祓の行事で、人々の犯した、罪や穢れを除き去るために行われます。神社では神前に大輪の茅の輪を立て人々が大輪を潜ります。この輪を潜れば罪や穢れ、災厄や疫病を祓い清めるとされています。

私は夏越しの祓え、大祓え（12月31日）には毎年神社に行きます。でも最近気がついたのですが私は回りすぎていたみたいです。まず左足を踏み入れ、左、右、左と8の字を描きながら輪を1回くぐればいいところ、私は3回くぐっていました。どうも目が回ると思いました。夏越しの祓えの後、「水無月」という和菓子を食べ、これで疫病を祓えると信じて毎年やっていますが、病気にもなるし、困った問題も次々起きたりします。それでも、やっぱり今年も行こうと思うのはなぜなのでしょう。自分でも不思議です。

7月2日は雑節の一つ、半夏生です。そして7月2日から6日までは夏至七十二候の末候「半夏生」の期間です。半夏とは「からすびしゃく」と呼ばれる植物が生える頃を言います。からすびしゃくはサトイモ科で苞（ほう）に包まれた花の形を柄杓に見立てカラスが使うくらい小さいので「からすびしゃく」と名付けられたそうです。球根は薬用として使われ、漢方で「半夏」といわれています。これとは別に「はんげしょう」という名の植物があります。「どくだみ」の種類で、半夏生のころにハート形の葉が白く変色します。我が家の近くの遊歩道でも見ることができます。

農家では、半夏生までに田植えを終えなければ収穫が減るといわれていたもので、「どんなことがあっても半夏生までに田植えを終えなければならない」とされていました。植物が教えてくれる農作業の目安。自然とともに暮らしていないとできません。

7月6日（月）から8日（水）は、真源寺の入谷朝顔市です。入谷の鬼子母神で知られる東京都台東区下谷、この辺りは、江戸時代、朝顔が盛んに栽培されていたため、真源寺に朝顔市た立つようになりました。現在でも約200軒もの露天が出て賑わい、東京下町の夏の風物詩となっています。けれども昨年に続き、今年も新型コロナウイルスの感染予防のため残念ながら中止です。通信販売で朝顔を買うことができます。入谷朝顔市の公認札もつきます。2000円（税

込、送料別) 送料は全国一律1鉢につき1,500円なので、合計3,500円。4色1鉢のセットで、どんな花が咲くかはお楽しみ、だそうです。詳しくは下記のアドレスまで。<https://www.asagao-ichi.net/>

芒種の頃に仕込んだ梅シロップと梅しょうゆ。出来上がるのが楽しみです。今度お便りを送るのは「立秋」(8/7)の頃。6月25日(金)、7月24日(土)は満月です。お月様、みられるといいですね。

今年の夏は気温が高いようです。くれぐれも熱中症に気をつけてお過ごしください。

すとう あさえ (NPO PTPL 会員)

◆ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」日本人の感覚、ジャパネスク。

ほぼ100%在宅勤務をしている知人がいます。在宅になってから、ベランダで花を育てはじめました。毎朝、「おはよう」って声をかけている自分に驚いたそうです。また蘭をいただいたそうで、「絶対、枯らす」と自信がなかったようですが、育て方をネットで調べてトライしてみたら、「見て、蕾！かわいいでしょう」と写真をラインに送ってきてくれました。「丁寧に世話ができるのよね。気持ちにゆとりができたみたい」と言っていました。わかります。私も5種類のハーブを育て始めたから。バジルのみずみずしいこと。

江戸時代の終わりに日本を訪れたハインリッヒ・シュリーマンの旅行記に

「家々の奥の方には必ず、花が咲いていて、低く刈り込まれた木で縁取られた小さな庭が見える。日本人はみんな園芸愛好家である。」と書かれています。在宅で忙しかった日常に生まれた気持ちのゆとり。シュリーマンが見た江戸の人たち同様、私たちは基本的に「園芸愛好家」なのかもしれません。

小さな自然とともに暮らすこと。それは日本人の感覚「ジャパネスク」だと思います。

日本 2021 ジャパネスク

「ともいき」、「ともうみ」、「ともさち」、そして「和」。

日本から世界へ、世界から日本へ。和魂世界才へ。

すとう あさえ (NPO PTPL 会員)

勝田 祥三 (NPOPTPL 理事長)

■事務局便り

今年の関東の梅雨入りが早いといわれていましたが、実際は例年より遅い梅雨入りとなりました。うっとうしい、どんよりした日々が続きますが、紫陽花がとてもきれいで見頃です。

ユーチューブに「ともいきチャンネル」を立ち上げました。多くの映像がアップされています。是非ご覧ください。

[ともいきチャンネル - YouTube](#)

- 日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」 : <http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」 : <http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」 : <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2020/>

「タピラス」 : <http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」 : <https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

「日本とは、日本人とは、その心とは何か？」

<http://www.japanesque.tokyo/files/chart5.pdf>

- 会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

■ 電話 : 03-6432-5911 F A X : 03-6432-5912 Email : info@ptpl.or.jp